

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (8 : 30 ~ 9 : 10)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	5	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報収集した内容をミーティングや台帳などを利用し情報共有できている。慣れていない人には職員の関わりを重視し、言葉遣いや表情等意識し関係作りに努めることができていた。訪問や送迎時等に本人だけでなく家族とも話し、本人や家族が困っていることや不安に感じていることを受け止め、サービスが選択して決められるよう提案できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
困っていること等、声に上がる部分に視点がいきってしまい本人よりも家族の困りごとの支援になりがちになってしまっている。本人と家族との関係性が薄かったり、家族が忙しく連絡が取りづらかったり等の理由で本人の気持ちや家族に伝わりにくい場合もある。事業所側の職員と他利用者人数との兼ね合いにより家族の要望に応えることができないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
上記出来ていない点をふまえ、家族の不安・要望を受け止めると同時に、本人の思いを聞いていく。また家族に伝わりにくい部分を書面に起こしたり、時間を割きながら訪問・送迎時に伝えるように心掛ける。一回一回の関わりを重視しコミュニケーションを積極的にとることでお互いに話し易い関係作りに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (9 : 10 ~ 9 : 50)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	4	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	3	3	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

会話の中でのふとした言葉に込められている本人の“願い”や“思い”を組み取れるようお話を聞きし、日々の援助に入れる事ができていた。一人一人に合わせて小規模プランを作成し全員が共有できるよう経過紙にはさんでいる。計画書の実施状況を日々記録し、定期的に評価、見直しができていた。日々の中やミーティングで気づきを発言できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人のどうしたいのかを引き出しきれていない為、その人らしい目標設定ができず同じような目標になりがちになっている。日々の関わりの中だけでは、なかなか見えて来ない部分もあり家族との関わりも必要でありもっと考慮すべき点がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

その人らしい目標が持てるように、本人の日常的な会話や表情から生活歴、興味、趣味、嗜好、日々の過ごし方などを把握する。家族や友人、御近所の情報からも「～したい。」という本人の気持ちを汲み取れるよう努める。知れた情報は経過紙や暮らしの情報シートに記録し、職員全員で把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年 9月 3日 (9:50 ~ 10:20)

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	4	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

暮らしの情報シートを活用し、生活歴や馴染み、自宅環境等を本人や家族より聞き、得た情報は一覧で確認できていた。毎日の体調変化には常に気を配り、家族の情報からも状態把握に努めている。職員間では口頭での伝達や記録を残すことで情報共有を行っている。これにより、いつから、どのように把握でき、回避できる事は直に対応できている。体調の変化については、主治医や訪問看護へ指示を仰いだり、受診の付き添いでの対応、サービス調整ができています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

暮らしの情報シートで、その人の情報を得ることができているが、項目内容が活用しにくい為か実際の支援に活かし切れていないところがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

暮らしの情報シートの内容を見直し、項目を付け加えたり、解りやすく書き易いものを考え作成し、日常支援につなげられるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (14 : 00 ~ 14 : 20)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	3	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	0	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	7	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>入浴、食事、過ごし方等、一日の様子を把握し今までの生活スタイルをできるだけ変えず、本人と家族や友人との関わりが継続できるよう通いや訪問の時間を調整するようにしている。どうしても出来ない時は相談、説明をし、理解してもらっている。</p> <p>ご近所とも関わりを持ち、何かあった時はご近所、民生委員への連絡を入れている。緊急時には、近所の人々が助けてくれた例もあり関わりはできている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人からの情報が曖昧で、地域と本人や家族がどのように交流しているかわからない利用者もいる。そういった利用者の場合は情報を得ることが難しく把握できていない。</p> <p>全利用者の民生委員、地域資源を把握しきれていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>本人とどの様に地域の方が関わっているか一部分しか把握出来ていない事から民生委員、町内会長、班長など地域資源を把握する様に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (14:20 ~ 15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	5	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	6	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員同士の会話や経過記録、申し送りノートを活用し情報共有ができており、気になっている点は声に上げ直に話し合うことができています。

日々の関わりから色々な視点で「変化」に即対応できるよう心掛けており、本人や家族の状態に合わせて予定以外での通いの時間の変更や訪問の追加、緊急な泊りにも対応出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源を把握できていないところがあり、事業所だけの支援になりがちである。

事業所周辺地域は、地域性か町内活動が活発でないように感じる。また、イベント（「まちのね」）を開催しても参加者が固定されていて地域との交流が少ない為、地域資源を使った支援が上手くできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

事業所周辺地域は、地域活動などが活発でなく自分たち事業所だけでの支援になりがちであるのが現状である。地域との関わりが持てるようにまずは、事業所を知ってもらう事から始める。その為に広報紙の見直しと配布エリアを広げ地域の力を借りられるように働きかける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (16 : 40 ~ 17 : 10)

6. 連携・協働

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	2	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	1	5	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	3	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	3	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>他のサービス機関へは情報提供を行い、必要に応じて担当者会議を行う事ができている。 地域住民との関わりとしては、町内のクリーン作戦に参加したり、毎月一回「まちのね」を開催して地域の方に参加してもらい、共に理解を深める場としての活動ができている。また、ボランティアや三和保育園児の慰問にて世代間交流が図れている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自治体、包括支援センターと連携が密に取れておらず、会議に参加できていない。 地域との関わりも地域の活動を把握できておらず参加できていない。普段は、地域住民は訪れることはなく「まちのね」も回覧板を通してアピールするも参加者の拡大ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域活動への積極的な参加をすることで、地域と事業所との交流の機会を持ち、繋がりを深める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (18 : 30 ~ 19 : 10)

7. 運営

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	7	3	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	4	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	5	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
運営推進会議にて事業所の現状や取り組みを報告し、頂いた質問や意見を活かし、サービスの向上に努めている。利用者や家族へは満足度調査を実施し、意見を運営に反映したり改善への取り組みができている。職員からも事業所の向上の為意見がでている。定期的に「まちなね」を開催し地域への働きかけを行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域性か町内活動が活発ではなく、交流が少なく関係性が薄いように感じる。事業所側からアピールはしているもののイベントを開催しても参加者が集まらない。利用者にばかり目が向き地域に対する意識が低く、困りごとに気づけず、地域行事も把握できていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域との関係性が希薄なため、意見や苦情を言える状況までには至っていない。意見や苦情を言って頂けるよう地域と事業所との交流の機会を持ち、繋がりを深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (19 : 10 ~ 19 : 40)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	3	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	4	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
どの利用者にどんなリスクがあるか、どんな対応をしたら良いかミーティング等で話し合いを行っている。また普段から意識することで、予測されるリスクに対し、予防的な対応をすることができている。ヒヤリハットや事故報告は対応策を当事者だけでなく職員間で検討できており、記録に残すことで再発防止に努めている。職場内の研修や自己学習し、資格の習得など自己能力を高めるための取り組みをしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会の活動を把握できておらず、参加できていない。 自ら研修のことを調べていない事もあるが、外部の研修については余り参加できていない。 経験年数や保有資格によってはリスクマネジメントについてよく理解できていない職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
知識、技術を向上する研修はあるものの参加できていない。 積極的に研修に参加し、知識、技術を高め、事業所全体でスキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 3 日 (19 : 40 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5	0	0	10
②	虐待は行われていない	6	4	0	0	10
③	プライバシーが守られている	5	5	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	1	3	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	6	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の安全を最優先した上で、自由に行動できるよう施設や柵での囲い込み等の物理的な拘束は行っていない。本人や家族の様子や会話及び職員間で意識しながら虐待防止、早期発見に努めていた。入浴、排泄、個人情報等プライバシーに配慮し、本人の希望によっては同性介助を行っていた。広報誌への写真や名前の掲載、関係機関へ情報提供は本人や家族に許可を取り、個人情報の管理ができていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人手不足や忙しいという職員の都合により、「～しないで」、「座っていて」等の言葉による行動抑制をしてしまうことがあった。 日常生活自立支援事業と後見人制度の知識不足があり、活用までにいたっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
行動抑制の言葉遣いをしない対応を心掛け、その場を見たら注意しあう。時に、利用者への援助を交代するなど協力し合い未然に回避する。	